



2012年
6月25日発行
発行所
天心学院
〒250-0631
神奈川県足柄下郡
箱根町仙石原1285
天心学院ホームページ
<http://s-bike.jp>

普通講員：信心を深め努力される信徒。
特別講員：普通講員の方で、さらに神様、
御仏様に志を希望される信徒。
講費（月）四千円
加がります。講費（月）四千円
紙の拝受けができる。

講費（月）六千円

大祓いと 初夏の例祭



神子様より

箱根の六月は新緑が色増し、色彩豊かな花々が咲き誇り、一年で一番華やかな季節となります。

いつもご加護、ご守護していただいております神様、御仏様の聖地を清めようと集つた有志の方々も、都会の喧噪からかけ離れた閑かなる空間に心癒やされながら、例祭前日の朝から、みな清々しい笑顔で大祓いをさせていただきました。

いつもは拝見できない大神様の御神璽、御仏様のお姿を拝しつつ、心を込めて一つ一つ丁寧にお掃除をさせていただきました。

午後からは外回りにあるお社を清掃する予定でしたが、吉澤先達夫婦が数日前から丁寧に清掃されていましたので、男性は外回りにある建物の基礎が老駆逐化しないよう、また地面の窪みがありましたので転ばないように、コンクリートで固める作業をしました。

女性は外回りのガラス窓を拭き、また普段は目が届きにくい所を丁寧に清掃していました。



拝殿の大祓い

その中から「何をも包む、大きな嫡やかな心」についての解説を左記に紹介します。

「たおやかな心」というのは、しなやかで柔らかい心を持つこと。

心優しい方が苦しんでいるのを見て、『何があろうとも、どんなことがあろうとも丈夫ですよ』とその方の苦しみを精一杯に受けとめてあげられる心を持つ、それが大きなおやかな心です。

しなやかな振る舞いがなかなかできなくとも、心中で受け止めてあげようと柔らかく大きな心を持っていると、小さな器が少しづつ大きくなっていくのです。

身近に苦しんでいる人がおれば、天心学院に導いて来られても良いんです。

私（神子）に任せて、ここに連れてきてもらひんです。それができる方もたおやかな心を持っていているということなのです。

また、ここに連れて来られなくても、自分なりに精一杯、聞いてあげようとすることも、自分良いんです。それができる方もたおやかな心を持つていているということなのです。

この後、神様にご挨拶させていただいたから、願い事を託した護摩木にて「お焚き上げ」をさせていただきました。

そして、御仏様にもご挨拶をさせていただきました。

すると、御大師様より心温まるお言葉をい

たおやかな心なのです



誠この（天心学院の聖地は）清らかで美しゅう。

まるでこの世というものから離れし所。皆々、昨日懸命に我らのため、神様のお姿（光）に清められることとなり、懸命に（聖地を）美しゅうする心、その心にて我の心も身も全てが清らかとなりしこと

箱根では年に二回、大祓いをしています。

神様、御仏様は、この聖地に来て掃除のご奉仕をすること全て、一人一人の行いをご覧くださっておられるそうです。

一心にキレイにしようとする心により、己の心も祓い清められることを教えていただきました。

これは正しい心を志す信徒だからこそ得られる尊い宝物ではないでしょうか。

★あなたは『天心学院の龍
神様をどのように思つて
いますか？』



「また昨日は、神子様の力強き、（天心学院の境内の池に）古くから在りし、もうやつれ果てる龍神に、全ての安らぎを与える御靈抜きをいたし、喜びて天（界）に舞い、清き雨となりて我ここ（天界）に昇りしこと。

（龍神の喜びを）皆々に知らせたることを神子様は心より喜ばれ、全て皆々の前で喜びを分かち合うことを願う神子様の清らかな美しゆう御心、ほんのわずかよりも我らが感じることできらば、嬉しきこととなろう。

また次の月日、祭りの時は、そなた達を迎えし龍神が神子様よりお御靈を入れていただき、そなた達を待つておることであろう。

清き若き龍神となりて、全てが輝くこと。まこと訳のわからぬ天候の中においても、この地だけは何ひとつ変わらぬ聖なる地

龍神様については次のページに詳しく載せています。

あなたは『日々心穏やかに過ごされていますか？』



翌日は朝から小雨が降る中、昨日に続いて広い境内の清掃に努めさせていただきました。例祭が始まる前には、その小雨もやみ、集いました信徒と一緒に例祭を執り行わせていただきました。

始めに、神子様が信心の心構えの説明を添えながら、一同で唱和させていただきました。

御大師様

★あなたは『神様、御仏様の身の回りをキレイに清めていますか？』



あなたはいつも
神様、御仏様に見守られて
いることを感じていますか？

「気候が様々変わる時期となり、身を崩す者多かるうが、（日々）穏やかなる心にて、静かにおられる」とことによりて、大きい病は小さきことと（大難は小難になろう）。

普通講員：信心を深め努力される信徒。
特別講員：普通講員の方で、さらに神様、
御仏様に志を希望される信徒。
講費（月）四千円
加がります。講費（月）四千円
紙の拝受けができる。

「清く美しき藤の花も咲き誇り、誠に見たこ